

綾織小学校改築について



織笠 孝之 議員

【質問】 市長施政方針演述で17年～19年で老朽化が著しい綾織小学校は改築に向けて、住民参加型の基本計画・設計に取り組むと再三表明している。単独改築から綾織中学校校舎を活用した改築案が3月末に急に出されたが、どの様な経緯で変わったのか。夢拓く綾織小学校を創る会等の意見を取り入れた住民参加

型の基本計画・設計はいつの時期に示すのか、その考えを伺いたい。

【市長】 綾織地区の子育て環境の整備も含めた「学びのプラットホーム」構想として、小学校校舎の保育所への転用等も構想した綾織小学校の改築案を「夢拓く綾織小学校を創る会」に示し説明した。中学校再編の結論を得て綾織小学校改築に取り掛かる方法もあるが、老朽化が激しく、子ども達のために早く校舎改築が必要だと考え、一日も早く教育環境を整えるため、小学校校舎の改築を前提に、まだまだ使える綾織中学校の体育館等を共用した5つの改築案を示しさらに検討をしながら、地域の理解と支援によって、本年度に予算化している綾織小学校改築の基本計画を進めたい。

【質問】 綾織地連協と綾織小学校を創る会役員合同会議で中小併設校は我々が求めるものではないと決議され、地連協として市長に要望書を提出したいと政策企画室に問い合わせたら、市長の予定がいっぱいで受付が出来ない。予定がない時も受付が出来ないのか。「公平・公正・公開」と市民に言っているが、日程調整が出来なかった事について尋ねる。

【市長】 市長の予定表は公開している。在庁中は扉を開いて、事前の申込みがなくても、いつでも対応している。正式な調整段階に至る前の、双方の認識の違いや勘違いがあったと思われる。



▲老朽化が進む綾織小学校

決算特別委員会 9月20日～25日

決算特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長菊池民彌議員、副委員長浅沼幸雄議員）は、決算10件の議案についての付託を受け3日間の審議を行いました。

特に、市税等収納対策、今後の財源の見通し、総合給食センター整備事業、介護保険サービス、遠野馬の里の経営改革、農業生産100億円達成アクションプラン、スクールバスの運行利用等に質疑が集中しました。

審議の結果、一般会計ほか9会計を原案のとおり認定しました。

宮守地域ケーブルテ

スクールバスの利用 について

【質問】 宮守町では、スクールバスを児童生徒・園児が利用し効率的に運用しているが、それ以外の利用は可能か。

【答弁】 一般の方々の乗車はデマンドバス運行を予定しているところであり、今後の課題である。

【質問】 宮守町では、学区外利用でスポーツ関係等の活用をしている。旧遠野市での活用は。

【答弁】 小友・土淵にスクールバスがある。部活の遠征等に特別運行で活用している。今後は、中学校再編の問題と絡んで、調整検討していく。

【質問】 交通事故が発生した場合、文科省の許可がなければ保障の対象外となる。責任の所在は明確になっているか。

【答弁】 申請で文科省の許可は得ている。保険は児童生徒、園児に掛けてあり、責任は教育委員会になる。

ケーブルTVエリア 拡大と災害情報対策は

【質問】 宮守地域へのケーブルテレビエリアの拡張事業は単年度で74%を越えているが、旧遠野市は64%と低迷している。今後、どう拡張を図るのか。

【答弁】 集合住宅や転入者への減免などを実施してさらなる拡張を図りたい。9月7日から物見山からデジタル波を試験発射しているが、総務省では遠野の場合、これまでのアナログ波の時よりも若干難視聴地域が増えると指摘しているのでその辺は十分考慮したい。

【質問】 10月から震度5以上の地震予知放送を実施することとなるが、遠野の場合ラジオの電波が届きにくい所が多い。解消策を検討するつもりはあるのか。
【答弁】 地震を含む災害発生時にはラジオも重要な情報源となるので、受信対策については今後検討していく必要があると考えている。